

カリキュラム

コースコード：26-403

タイトル		事業者に寄り添う事業継続と資金繰り支援		
研修のねらい	商工会・商工会議所等の支援機関職員が中小企業者・小規模事業者の事業継続を支えるための資金繰り支援を実践的に学ぶことを目的としています。具体的には資金繰り表作成やリスク管理の方法、資金調達の見直しを理解し、事業継続に必要な資金を安定的に確保できる手法を習得します。中小企業者・小規模事業者及び創業者が資金繰りに行き詰まり、リスケジュールを行うことになったり、事業者自身の生活が困窮することがないように、予め資金繰りが危機的な状況に陥らないための対応能力を高め、支援機関として適切なアドバイスと支援ができるスキルを身に付けます。			
研修の特徴	1. 事業者の収益構造を理解することにより、事業継続に必要な目標利益、目標売上を出し方を学びます。 2. 資金繰りに関する理解を深め、実際に資金繰り表を作成し、支援の方法について学びます。 3. 事業継続のために具体的に何をするのか、戦略マップを使って早期に事業を改善するための戦略の作り方を学びます。			
対象者	中小企業支援担当者又は中小企業支援協力機関の役員及び職員で、中堅担当者又は職務経験5年程度以上の者	定員	20名	
		研修期間/時間数	2026年6月10日(水)～12日(金)	
			3日	20時間
		会場	中小企業大学校 瀬戸校 大教室	
受講料	23,000円			
科目構成				
日付	時間	科目	内容	講師
6/10 (水)	9:20～9:40	開講式・オリエンテーション		
	9:40～10:40	資金繰りに関する国の支援施策について	中小・小規模企業の資金繰りの現状と支援施策 ・資金繰りの現状と課題（外部環境による変化、業種別・企業規模別の違い） ・直近の政策変更、新規政策を含む国の主な資金繰りに関する支援施策の概要	中部経済産業局 産業部 中小企業課長 北野 聡史
	10:40～12:00 13:00～17:40	事業者の収益構造（儲けの仕組み）に関する理解とサポート	・損益計算書から分かる儲けの仕組み ・必要な利益を確保するための目標売上高の求め方 ・損益計算書から目標利益達成するための目標売上高を算出する ・儲けの仕組みを使った中小企業・小規模事業者への支援方法	コンサルティング・シスト代表 伊藤 慎悟
	18:10～19:10	受講者交流会	受講者相互の情報交換と交流を深めていただく懇親会です。	
6/11 (木)	9:30～12:30 13:30～17:30	事業者の資金繰り改善に関する理解とサポート	・資金繰り表の仕組み ・ケースを用いた資金繰り表作成 ・決算書から資金繰り表(予想)を作成する ・資金繰りに困窮しない方法を考える ・資金繰り表を使った中小企業・小規模事業者への支援方法	
6/12 (金)	9:00～12:30 13:30～16:00	事業者の収益改善に関する戦略策定のサポート	・資金繰りを良くするための事業戦略の考え方 ・戦略マップを使った経営戦略の策定 ・戦略マップ作成演習 ・具体的な行動プランへの落とし込み	
	16:10～16:20	閉講式		
講師氏名		略歴		
伊藤 慎悟(いとう しんご) コンサルティング・シスト代表 中小企業診断士		人と企業の戦略アドバイザー。観光バス会社で添乗員や営業の仕事を5年間経験した後、各務原商工会議所に転職し、地域中小企業の支援業務に16年間従事。2008年、経営コンサルタントとして独立開業。地元岐阜県、愛知県を中心に全国で年間約150回のセミナーや研修の講師を務める他、起業家、経営者、後継者の相談も年間約300件行っている。また全国の中小企業大学校等において中小企業支援者の指導、育成にも関わっている。2019年より飛騨市ビジネスサポートセンター長を務めている。		